

## 北広島町観光振興まちづくり計画 第3回策定委員会の主な意見

※（ ）書きの頁番号は、「第三次北広島町観光振興まちづくり計画」の頁番号。

課 題	意 見
<p>全体的な内容・体制</p>	<p>■第二次観光振興計画の時、ターゲットやキャッチフレーズがあった。この策定委員会の場でなくてもよい。きたひろ案内人等、わかりづらい。一般のイメージで「きたひろ」は北海道の北広島市を思わせる。この場で終わらず、第三次観光振興計画期間の8年間で検討してもらいたい。</p> <p>〔事務局〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上位計画から順に「第二次北広島町長期総合計画」「北広島町第三次観光振興計画」「北広島町観光戦略方針（H27.2）」。「観光戦略方針」のキャッチフレーズ＝「キタに恋♡来い北広島」、ターゲット＝「県内30歳代活発な女性」。県内の自治体からも「きたひろさん」と呼ばれるようになった。今回ご審議の「観光振興まちづくり計画」については、町の観光振興の上位計画として「長期総合計画」の次に続く計画。そこからこの「観光戦略」という細かい部分を検討していくものを作成するもの。具体的な呼称なりターゲット部分について検討を進めるものと考えている。ターゲットが、この計画の中に入っていない</li> </ul> <p>ということについては、追加表記するか否か検討するが、「観光戦略」の中で検討をすすめていくことから、まずは上位の計画を決定してそこに向けて進めていければ良いものとする。</p> <p>■「きたひろ」が根付くとブランド化する。</p> <p>■第三次計画策定の委員会は終了するが、非常に重要な計画だと認識している。第二次観光振興まちづくり計画は、コロナ禍の中での実施もあり進捗が検証できていなかった。第三次計画については、しっかり追いかけていきたい。</p> <p>■観光産業自体は、自動車産業に次ぐ外貨獲得売上額のある産業というふうに言われている。観光に関わっている人たち、また観光によって広がる事業とか産業はたくさんあるので、この計画によってより広がってほしいと考える。</p> <p>■中山間地域が非常に今厳しい状況。観光の力によって少しでも何かの力になるよう、取り組んで行けたらと考える。</p> <p>■まちづくりの観点からも観光は非常に大きい役割があると考えているので、産業の面とまちづくりの面でしっかりやっていければいい。</p>
<p>第1章 計画の概要</p>	<p>【SDGs】</p> <p>〔事務局〕</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(P5) 脱炭素に関連で「北広島町生物多様性の保全に関する条例」は、全国に事例のない先進的な取り組み。経済活動をすれば必ずCO<sub>2</sub>が出る。「使ったら（排出したら）〇〇の取組みをする」が良いと思われる。第三次観光振興計画では「計画におけるSDGsの取組」の記載内容を再度検討し、一部変更させていただきたい。</li> <li>・商工業関係での課題もある。令和6年度に行う取組みもあり。</li> <li>■町のSDGs目標としては、持続可能なまちを作っていく中で、観光で関係人口を増やしていくこともあると考える。付け加えることで観光客入込数をいくりにするとか、強引ではあるかもしれないが関連付けられると考える。ある意味最終的に北広島町がどうすれば持続できるのかを、観光の面でとらえたものと解釈している。観光客見込み数とか関係人口があっても良いと考える。多くの観光客がくることでCO<sub>2</sub>はいっぱい出る。しかしそこだけを捉えることがSDGsではないと思うので、総合的に町全体でどうするかが重要。</li> <li>■どうやったら持続化となるか、人にも来てもらわなければ困るし、商品単価も上げていきたいと考える。総合的にサステイナブルに繋がっていくことと考える。</li> </ul> <p style="text-align: center;">〔事務局〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(P5) SDGsの推進については、環境・経済・社会を統合的価値の創造を目指すという形で取り込まれるものと計画。環境・経済・社会を一体的に価値向上させていくための施策を各自治体は練っていることから、観光振興まちづくり自体も環境・経済・社会の一体的価値向上の構築を目指しているものとなるので、このSDGsの基本方針のところ少しわかりやすくトレードオフを盛り込む。（トレードオフとは、両立できない関係性を指す言葉で、一方を得るともう一方を失う状態のこと。）</li> </ul>
<p>第2章 観光を取り 巻く状況</p>	<p style="text-align: center;"><b>【 観光消費額 】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■(P9) 1人当たりの観光消費額は令和4年度の安芸太田町は1,829円となっている。どのような部分で多くなるのか、わかる範囲で教えてほしい。</li> </ul> <p style="text-align: center;">〔事務局〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・詳細は不明。一般的には宿泊施設が単価を引き上げる傾向がある。中山間地域で多いのは中高年のハイキングや山登り等のブームにより、三段峡をベースとした行事等が要因と考えられる。</li> <li>■宿泊施設を絡めたイベント的なものを実施するなど、取り組みを伺ったことがある。単価を高めに設定して取り組むなど、実施されているものと思われる。</li> </ul>

<p>第5章 具体的施策</p>	<p style="text-align: center;"><b>【 観光ガイド「きたひろ案内人」の育成・活用事業 】 (P23)</b></p> <p>■重点事業の「夢プロジェクト事業」、伝統芸能やスキー等の子どもたちの活動へ教育委員会のバックアップが必要。例えば花田植では壬生＝壬生小の授業で実施、新庄＝新庄小の授業で実施。神楽も同じだが継承と後継者育成に関し、校長会を通じて積極的な働きかけをお願いしたい。</p> <p>山県郡の子どもがスキーをしていないが、是非スキー教室を復活してほしい。教育委員会への働きかけが必要。</p> <p>■学校教育を含めた、教育委員会としての取り組みして欲しいというような意味合いかなと思うが、生涯学習課より教育委員会という記述か。</p> <p>〔事務局〕</p> <p>・組織上では、教育委員会の中に学校教育課と生涯学習課があることから、生涯学習課に加えてではなくて、教育委員会と同一組織と考えていただくと良い。連携というよりも教育委員会の取り組みとしてやる中で、担当課が生涯学習課なので、計画案の中には担当として生涯学習課で記載。生涯学習課が担当するプロジェクトであり、学校の教育の中で例えばスキー教室とかを取り組んでいくが、生涯学習の一環として学校教育の中で地域に愛着がある子供たちを育てていくというこの取り組みをこの夢プロジェクトで実施。これからも、ふるさとを愛する子供たちを育てていくという取り組みを進めていく計画。そのため、表記的には生涯学習課とし、生涯学習課から各小学校とか中学校へしっかり働きかけて欲しい、との整理を進める。</p> <p>■ボランティアガイドはどの団体で、現在ボランティアガイドをどのように活用をしているのか、またボランティアであることのメリット等を教えていただきたい。</p> <p>〔事務局〕</p> <p>・毛利・吉川関係「きたひろ案内人」と、八幡湿原関係「芸北トレッキングガイドの会」。地域を地域の方が学び観光客や学びの方々に紹介をしていただくことで、知識のレベルアップに繋がるものとする。</p> <p>■質の担保であるとか安全面においても、来ていただいた方々の満足度に繋がっているか否か疑問に感じるところもある。例えば、大人の民泊プログラムの開発があるが、プログラムにしてしっかりと練られたサービスとしてツアーを組んでガイドを行う方が満足度が向上するのではないだろうか。他のところにツアーの推進は多数書いてあるが、プログラムの開発やツアー造成に対する支援については、全く書かれていないと感じる。人材育成も同様。</p> <p>〔事務局〕</p>
----------------------	---

・有料ガイドも可能。仕組みづくりが重要。毛利・吉川関係は学習会を実施している。有料の必要性の検討要。

■勉強会などを実施して皆さんのレベルを全体で上げているなど行っている。

■特徴があり人気のあるボランティアガイドが必要。例えばランチを挟んでの前後2時間で1日のツアー等。

#### 【北広島町農山村体験推進事業】(P24)

■「体験型修学旅行」はどれくらいの受入をしているのか。

〔事務局〕

・県内小学校の受入が20校程度、夏休みを中心に受入。小中高校の修学旅行は関西・関東方面より10~20校程度、春と秋のシーズンが多い。

#### 【特産品開発】(P25)

■「北広の匠」について、担当が「はなえーる」と「まちづくり推進課」になっているが、「商工会・観光協会・商工観光課」も一緒に事業を推進しているが入っていない「まちづくり推進課」自体がこの事業自体を、中心的にやっているというような感じではない。関係団体として、商工会、観光協会という記述することで、将来的には商工業分野だけでなくその他分野のところも含めていけば、この事業自体がより大きく広がりのある事業として展開できるものと思う。

〔事務局〕

・関わる課が多数の場合、「重点事業」へ【 】内へ記載されているのが主導的な課・団体を記載。別表で「推進体制」として関係する関係課・団体を記載。「北広の匠」の場合、「はなえーる」が主体ですが、「まちづくり推進課」がバックアップをする形。P36~37参考。

#### 【観光拠点整備・運営事業】(P26)

■デジタルデバイスの提供の具体とは。観光拠点における情報発信機能の拡充で、デジタルデバイスの提供は非常に大切なところであると感じるとともに、情報発信はSNSの活用やプラットフォーム化を図るなどもう少し具体的な取り組みの記述ができないか。

〔事務局〕

・観光プロモーションとは別項目で、観光施設からの情報発信。情報プラットフォーム機能は情報集約・発信。もう少し具体的な取組内容の表記があっても良いと考えているが、もう一步踏み込んだ実行計画として、まだ検討段階であるとの状況。

・情報発信に関する基本方針としては、デジタル化やSNSを活用した情報機能を拡充する話と、誘客プロモーションとして観光コンテンツの開

発や情報発信を実施・展開する2つの話があった。ハード的な部分とソフト的な部分が入り混じっていることから、整理して計画には表記する状況。具体的な情報発信の手法をということであれば、プロモーション事業の取り組みにおいて別項目で取り組みを進める計画。

**【 観光案内サイン整備事業 】 (P29)**

■サイン計画自体はまちづくり推進課が担当で、サイン計画があつての観光案内計画なので連携をどう記述するのか。観光案内サイン整備は商工観光課が実施するのか。

〔事務局〕

・北広島町サイン整備実施計画」はまちづくり推進課が主管課であるが、サイン計画は観光案内に係るものであり、道の駅等インバウンド向けの案内表示を含む計画。

**【 インバウンド誘客事業 】 (P31)**

■もう少し細かい情報があるとわかりやすいと感じている。概略程度の説明しかない、インバウンド向けに情報発信を行う、結局これだけではお客さんは来ない。各項目に対して、どう細かくやっていくか、どのような対応を検討しているのか、検討を行う会議があるのか、これは継続的に今後どういうふうにしていくなど、具体的な情報があると良い。

■「具体的施策」の章全般であるが、詳細の記載がなく概略的なものの記載のみ。北広島町は各々で動いており、全体で動いていければと思う。マレーシアからの誘客で長期滞在を推進している。豊平の蕎麦打ち体験や神楽も呼びたい。甲冑の着付け体験もできると聞いている。今後相談させていただきたい。細かい所が重要。広島駅からどうやってくるか。町内バス事業者が日に2本とか。現状では、全てホテルが独自でコーディネートする必要がある状況。北広島町においてさまざまなものを、何とかうまく結びつけていけたら良いものは結構ある。例えば、価格がこうだとか、全てお金がかかることから、このような対応はどこに相談が可能となるか等。地域をつなげる等どこに相談させていただくことが可能か。

〔事務局〕

・総合的な計画であるため、おおまかな計画である。細かいところは、それぞれの担当課・団体から該当事業者等への協議・相談となる。

■インバウンド事業に関わってきているが、1つ1つをもう少し磨き上げて、点から面にしていくと本当に長く滞在していただいて、消費額も増えるものと考え。先ほど消費額の説明があつたが、本当にどうしたら単価が上がるのか考えていく必要がある。

■この計画は基本方針で、これに基づいて実行計画を作るといふことな

	<p>ので、その辺も踏まえ、交通の対応も本当に検討すべき事項。</p> <p><b>【 北広島町観光プラットフォーム（仮称）事業 】 (P32)</b></p> <p>■観光のプランやコンテンツ開発・情報発信については今後検討を行うプラットフォームで担うものであるとの認識でよいかという点が1点。前提として北広島町観光プラットフォーム事業のところで、あと、情報共有・情報発信も含め取り組みを推進する場所であるとの認識でよいか。</p> <p>〔事務局〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光振興計画の中でしないということではなく、それぞれの重点分野を定めてやらせていただく、そういう計画であり基本方針であるということでご理解いただけたらよい。計画の中に、より具体的に表記する必要があるとのご指摘であれば追記することを検討したいと考えるが、ご指摘の件は当然取り組んで行くことと考えているので、重点事業として分野は分かれてはいるものの、それぞれが連携し、それぞれが重点事業の連携を読み取っていただくような形に検討していただきたい。</li> <li>・北広島町観光推進組織の設立において、検討事項の中で情報集約のみではなく発信についても実施する組織を検討していく。</li> </ul> <p>■プロモーションと混同しているところがあると思う。観光事業においては大事なところなので、観光推進組織についてはしっかり検討が進むようお願いする。</p>
<p>第6章 計画の推進・点検・評価</p>	<p><b>【 計画目標の設定 】 (P33～37)</b></p> <p>■計画の推進、点検、評価目標数値の設定について、計画を策定しそれをどうやって推進していくか、PDCAサイクルをまわしていくかということ。第三次計画においては、第二次計画に比較してより明確になったと思う。</p> <p>■大きな取組方針であり目標であることから、特に意見なし。</p> <p>■ (P35) 北広島町はゼロカーボンタウン宣言をしている。観光のCO2排出のの区表数値等はあるのか。</p> <p>〔事務局〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度「北広島町地球温暖化対策実行計画～北広島町ゼロカーボンタウン推進計画～」を策定し、現在進行形で取組みをしている。全体の計画(令和12(2030)年度までに町域の温室効果ガス排出量をH25(2013)年度比で68%削減。長期的な目標=2050年度までに町域の温室効果ガス排出量を実質ゼロ)はあるが、観光のみは盛り込んでいない。</li> <li>■ (P35) P22～32 第5章の具体的施策へSDGsの番号はあるので、住民を含めて意識付けでよいのではないかと。海外からのお客は関心がある。八幡地域だけでなく、町全体での取組みが必要。議論は必要であるが、町全体でのゼロカーボン・SDGsの取組みは北広島町の売りにもなる。</li> </ul>

	<p>〔事務局〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光分野の数値を明確にした方が良いと思うが、トータル的な数値しかない。この第三次観光振興計画で年1回点検し、3年後の令和8年度の見直しにおいて修正できるか否か不明。見直しまでにある程度、分野ごとの数値的な部分で環境に対する取組目標やCO<sub>2</sub>排出の低減率とか目標値が出れば修正する。</li> </ul>
<p>第7章 資料編</p>	<p>〔事務局〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(P39～40) 策定委員会とプロジェクトチームの会議とメンバー（委員の名前）を記載。</li> <li>・(P41)『関連計画の概要』は、現在同時進行の白米を主体とした「目的観光地としての食（白米）魅力発信事業」を記載。</li> </ul> <p>■次回計画策定時には、是非とも女性の委員さんに就任いただきたい。今回3回策定委員会があった。入院や病気は致し方ないが、欠席の場合、副会長等の代理出席をお願いしたい。</p>